

# 進路だより 神の川

第2号

発行 令和4年5月12日(木)  
鹿児島県日置市伊集院町郡1984  
鹿児島県立伊集院高等学校  
進路指導部  
☎ 099-272-6015(直通)

## 進路を考える高校生の気持ち

私の大学受験は、ちょうど40年前1982年の1月、共通一次試験に始まりました。私は第一希望の大学を受験することができましたが、学部・学科は消去法で考えたことを記憶しています。私立大学に進学することはできなかったため国立大学1本の受験でした。

少々古いデータですが、文部科学省の調査に「進路を考えるときの高校生の気持ち」というものがあります。その中に示されたデータを紹介します。

進路を考えるときの気持ちとして、「自分の可能性が広がるようで楽しい」24%に対して「自分がどうなってしまうのか不安になる」48.7%，とほぼ半数の高校生は不安を抱いているという結果です。不安を感じているのは自分だけではないと安心してください。ではその不安をどのようにして払拭すればいいのでしょうか。「進路選択に対する高校生の気がかり」という調査項目を見ると、高校生が感じる気がかりで割合の多い項目として、①学力が足りないかもしれない、②自分に合っているものがわからない、③やりたいことが見つからない・わからない、④社会に出て行く能力があるか自信がない、とあります。皆さんも同じような気がかりがあるかもしれません。そこで、やってはいけない進路選択の方法を示し

校長 濱島 幸治

ます。まず、「自分で調べずに人の話だけで決める。」人から聞いた話やアドバイスを参考にするのは構いませんが、その情報が正確で、あなたに合っているかはわかりません。自分のことは自分で調べて考えるという習慣をつけましょう。次に、「あまり興味はないが役立ちそうだから」という理由で決める。興味ないことを選択してしまうとモチベーションを維持するのが大変です。今興味があることや以前興味があつたことを軸にして考えることが結果的によい進路を見つけられると思います。最後に「学校や企業のネームバリューだけで決める。」入学・入社が目的になってしまいういうケースで、何をしたいかが漫然としているため入学・入社後に目標を失ってしまいます。

進路指導部から出されるこの進路だより「神の川」を一つの情報源として、自分の将来をしっかりと見つめ進路を考える一つのヒントにしてほしいと考えます。



## 最近3ヶ年の合格状況

合格数は、( )内の過年度生別明分を含む 令和4年4月5日現在

国公立大学	R2年合格数	R3年合格数	R4年合格数	私立大学	R2年合格数	R3年合格数	R4年合格数	短大・大学校専門学校・就職	R2年合格数	R3年合格数	R4年合格数
北海道教育				早稲田	1			鹿児島県立	15(3)	7	17(1)
東京海洋			1	稲林				大分県芸	1		1
東京学芸			1	拓殖	1			三重県立			
電気通信		1(1)		正立				公立短大合計	16(3)	7(0)	18(1)
東京芸術				日本体育	1	1	2	近畿大短大部	1		
愛知教育			1	日本本				西九州短			
名古屋				東京女子医	1			福岡工業大短			
京都				帝京				香蘭女子	1	1	1
大阪				駒澤				福岡女子			
神戸				創成	1	1		九州龍谷			
大阪教育	1			武藏				福岡医療			
岡山				ヤマザキ動物				佐賀女子			
広島				東名古屋学院	1	3(2)	1	鹿児島女子	8	10	11
香川			1	関西学院	1(1)			鹿児島純心女子	11	7	7
愛媛				同志社	2(1)			第一幼稚園			
高知				龍谷	1(1)	1(1)		その他			
九州				京都産業	1(1)			私立短大合計	21(0)	19(0)	19(0)
工業	2(1)		1	関西	2(1)			海上保安大学校	1(1)	1(1)	
福岡教	1	3		福祉	2			水産大学校	1		
佐賀	2	1		科学	2			九州職能			
長崎	3	1	1	京都女子	1			その他	1(1)		
熊本			2(1)	大坂芸術				大学校合計	3(2)	1(1)	0(0)
大分				経済				大短期学校合計	3(0)	2(0)	0(0)
宮崎	3	1	2	岡山理科	1			川内職能	2	2	
鹿児島	18(1)	16(3)	17(1)	太平洋	1			国立波方海上技術	1		
鹿屋				広島工業	1			その他の			
琉球	2	3	1	南南学院	2	2	2	短期大学校合計	3(0)	2(0)	0(0)
国公立大学小計	29(2)	31(4)	28(2)	福岡女学院	5	4	3(1)	医療センター附属	1	4	
前橋工科				日本経済	2	1	2	鹿児島医療技術	15	10	15
長岡造形		1		日本赤十字国際看護	3			鹿児島療福祉	5	3	4
都留文科				久留米	2	4(1)		久木田学園	3	2	
福知山公立	1			工業	1			鹿児島歯科学院	4	2	3
尾道市立		2		九州産業	2(1)	2	4	神村学園専修	4	2	3
山口県立				共立	3	4	1(1)	鹿児島中央看護	4	4	1
下関市立	3	1	2	九州国際				鹿児島看護	1	2	
北九州市立	4	1	3	国際医療福祉				赤塚学園看護	7	3	
福岡県立	1			純真学園	1			川内看護	1		
長崎県立				筑紫女子学園	1			第一リハビリ			
宮崎県看護	1(1)			中村学園		2		鹿児島医療工学	2		
宮崎公立	3		2	立命館アジア	2			その他の	1	7	10
名桜				長崎外国语				看護医療系小計	34	44	28
公立大学小計	13(1)	6(0)	13(1)	九州保健福祉	3	1(1)		KCS鹿児島情報	4	4	1
国公立大学合計	42(3)	37(4)	41(3)	熊本保健科学	3			鹿児島キャラデザイン	2	1	2
				熊本学園	1			今村学園ライセンスアカデミー	2	3	
				崇城	4(1)	7	3(1)	赤塚学園美容デザイン	1		3
				九州看護福祉	1	3	4	鹿児島環境・情報	3		
				第一工科	9	6	9	大村美容ファッショ			
				鹿児島国際	45(1)	42(2)	52	福岡ビジョンナリーアーツ	1		
				志學館	23(1)	15(1)	21	その他の	6	4	10
				鹿児島純心女	7	7	12	医療系以外小計	14	17	18
				その他の	6	5	4	専門学校合計	48	61	46
				鹿児島公立	3			地方公務員	3	2	3
				名				自衛隊(のべ)	2	1	1
				鹿児島国際	45(1)	42(2)	52	一般企業	4	3	1
				志學館	23(1)	15(1)	21	就職合計	11	6	5
				鹿児島純心女	7	7	12				
				その他の	6	5	4				

# 合格体験記

進路だより 神の川

## 自分なりの勉強方法

愛知教育大学教育学部 増山 歩祈

受験を終えた今、私から皆さんに伝えたいことは自分なりの勉強方法を見つけることが大事だということです。

私は高校に入学してから途中まで、あまり勉強への意欲が湧かず、自宅での学習時間はほぼありませんでした。そのため、1、2年次ではテストの成績もあまり良くありませんでした。3年に上がり、クラス全体の雰囲気が受験ムードになるにつれ、「このままでいい」と思い、自宅での学習に取り組もうとしました。しかし、これまでの生活のせいで家に帰つてから勉強するという習慣は身についてなく、自宅での学習はあまり身が入らず、成績も伸びませんでした。周りを見ると、頑張っている友人ばかりで、頑張れない自分に対して落ち込むこともありました。途中で「家でできないのなら学校で勉強すればいいのでは」と考え、学校の休み時間や昼食後の隙間時間などでその日の授業の復習や次の授業の予習をするようにしました。やってみると10分や20分あれば十分勉強できることに気がつき、とても喜びました。家で長時間勉強するより、短時間集中して勉強するほうが私には合っていることが分かりました。それからは周りと比べて落ち込んだりすることもなく、楽しく学習することができました。そうして、私はこの勉強方法で共通テスト、2次試験まで頑張りました。皆さんも周りを気にせず、自分なりの方法で楽しく勉強してほしいです。

また、後悔していることは英検などの資格を何も取得していないことです。特に英検は、持っていると色々な場面で利用でき、有利になることを知り、もっと興味を持って積極的に動くべきだったと後悔しています。

最後に、大学受験はゴールではないです。受験がうまくいかなかったからといってその後の努力次第でいくらでも修正は効きます。しかし、それは今受験に向けて努力するよりも何倍も大変なことだと思います。そのため、将来の自分のために今の自分ができることをよく考えて行動してほしいと思います。今周りにいる友人や支えてくれる先生方や家族と共に、最後まで諦めずに頑張ってください。応援しています。

## 保護者から一言

### 三年間の集大成

梅北 成文

(鹿児島大学工学部先進工学科 梅北 壮史)

長いようで短かった三年間。三年前、校門沿いの満開の桜の中で迎えた入学式が、昨日のことのように思い出されます。友達やクラスメイトにも恵まれ、部活のバスケットボールも弱音を吐くこともなく三年間やり通し、本人なりに部活と学業を両立した高校生活だったのでと思います。

そんな中で、三年になってからは、受験というハードルを前に苦しんだ一年でもあったと思います。私もそうでしたが、自分の進路について漠然としか考えていなかったものが、三年になり選択を迫られ、それに向けて必死に走り続ける日々を迎えます。息子も、好きなゲームも封印し、先生に勧められて朝型の勉強にシフトしたり、休日も学校へ行き頑張っていました。模試で点数が伸びずに悩んでいる様子も沢山見ました。親としては励まし見守ることしかできず、ただただ本人の健闘を祈るばかりでした。

そして迎えた共通テストは、本人の期待とは裏腹にうまくいったとは言い難い出来で、かなり落ち込んでいる様子でした。それでもへこたれることなく、休みの日も二次試験の直前まで毎日学校に通い、数人のクラスメイトと共に自学を続けました。二次試験の前夜、「一緒に頑張った友達みんな合格してほしい。」厳しい立場にある息子が言った言葉に胸が熱くなったのを覚えています。

そして合格発表の日、スマホを見て「あっ、僕の番号が載ってる！」。息子の頑張りが報われた瞬間でした。

高校生活はわずか三年。でも子どもたちにとってはかけがえのない三年間です。コロナ禍で制約もありましたが、息子のおかげで、部活の応援や保護者との交流、学校行事やPTA活動などを通して、沢山楽しませてもらいました。私たち親にとってもかけがえのない三年間になりました。三年間支えて頂いた先生方には感謝の言葉しかありません。これから次のステップへ進んで行く息子には、伊集院高校で学んだことや思い出を糧に、大きく成長してほしいと思います。

合格後、ネットの進路アンケート調査での『後輩たちにメッセージがあれば一言』という問い合わせに、息子がこう書き込んでいました。「共通テストで失敗しても、最後まであきらめずベストを尽くせば道は開けます。」

伊集院高校の後輩の皆さん、志望校を目指して健闘されることを心からお祈りしています。

## 得意科目を大切に

九州工業大学情報工学部情工I類 五反田 陽大

僕は合格するために、さまざまな事を工夫して勉強に取り組みました。今からそれらを紹介します。

まず、睡眠時間は頑張って固定していました。自分は朝が苦手で夜に勉強をしたくなるのですが、朝課外が7:40から始まるのでそれより前に起きる必要がありました。そのため毎日起きる時はかなり大変で朝はなかなか頭がまわりませんでした。それでも睡眠時間を固定していれば、少しは楽に起きるので、朝苦手な人は少なくともこれを守れば良いと思います。

次に得意科目は誰にも敵わないほどできるようにしました。学校や家で勉強していくうちに「これは自分の得点源だ」みたいに、誰でも得意科目を見つけると思います。自分は数理英が得意で、定期テストを除き模試では学校で1位を取り続けましたが、そうしていくうちに自分に自信がついてきました。「自分はやればできる、努力すればできるようになる」このことを実感するのは大切だと思うので得意科目の強化をお勧めします。また、勉強方法については「予習→授業→復習」の過程を学校は薦めていますが、苦手科目はそれでいいと思います。ただ得意科目については予習が授業が復習だと自分は考えました。先取りがとても大事だと思ったからです。これを行うとかなりの余裕ができ、苦手科目に充分な時間が当たらました。

そんな感じで勉強をこなしていた自分でも、勉強が辛いことはありました。苦手科目に関しては、やる気も自信も失せる時がありましたが。しかしそんな時は今までやってきたもの、積み上げてきたものを信じて勉強を進めました。苦痛を感じたら一休みをして次の勉強に備えました。

最後に、まだ進路を決めてない人は、先のことが心配で前に進めない人がその殆どだと思います。まだ悩んでいる人は、何か行動を起こしてみると良いでしょう。きっと何か見つかるかもしれません。あとは、周りへの感謝のきもちは決して忘れないでください。残りの期間、何とか頑張っていきましょう。

## 「勉強も部活も頑張りたい。」

今村 さおり

(鹿児島大学法文学部人文学科多元地域文化コース 今村 葵子)

「勉強も部活も頑張りたい。」と、娘は三年前伊集院高校に入学した。そして入学二日目には剣道部に入部し、引退の日まで、文字通り「文武両道」を貫いてきた。最初の一年は、帰宅後二時間余りを学習時間に充てていたが、二年生になる頃、部活動から帰ってくると眠気が勝ち、集中して勉強ができるないと、朝型に切り替えた。それからこの三月の大学入試が終わるまで、毎日三時半頃起床し、登校準備を始める六時半頃まで勉強するという生活を続けていた。

部活動を引退してからは、土日の学校が開いている日は学校に行き、家に帰ってからは早朝に加え、歯磨きや夕食の準備ができるまでの間など、隙間時間を使う利用し、学習時間に充ててきた。

志望大学をきちんと決めたのは、三年の夏休みだった。コロナ禍に県外の大学を志望すると言われ、親として心配や反対する気持ちがなかったと言われると、勿論そうではない。しかし、目標に向かい毎日必死に努力する娘には、「頑張れ」としか言えなかった。

いざ迎えた共通テスト。テレビや新聞等で報道された通り、全体的に難化しており、すっかり自信を無くした娘は、第一志望校の受験を諦めると言った。しかし友人や先生方の励ましもあり、挑戦することに決めた。結果的には不合格ではあったが、娘は「あそこで諦めずに挑戦できて良かった。」と、泣き腫らした顔で清々しく言った。

卒業式を終えた後も、中期、後期試験対策の為に毎日学校に通い、添削指導を受ける日々。周りが次々と進学先が決まっていく中、焦りや不安でいっぱいだったことと思う。それでも最後まで戦い、中期、後期の受験校から合格をいただいた。

合格発表の日、「今日まで有難うございました。」と娘から言われたが、自分は何も特別なことはしていない。担任の「いつも通りいいんです。」の言葉通り、母親としていつも通り送迎をし、食事を用意し、他愛のないおしゃべりをする。それだけだった。本当に感謝すべきは、三年間共に頑張った仲間、熱心に指導してくださった先生方である。

これから始まる大学生活。周りの人への感謝の気持ちを忘れず、好きなことを学び、存分に楽しんでほしいと願っている。